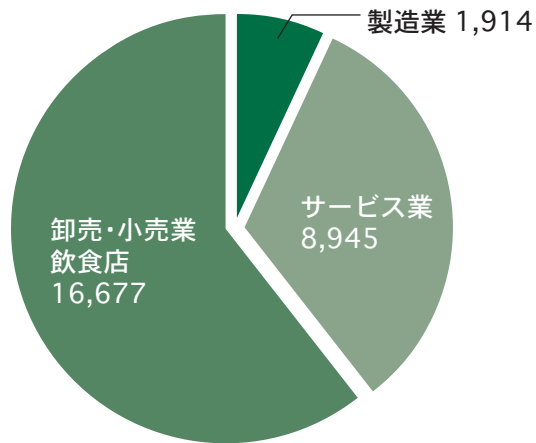


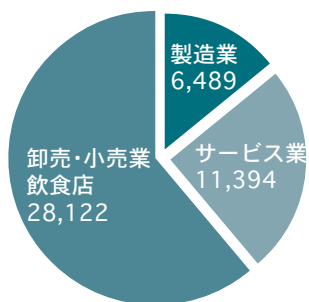
進化する飲食業界 ～食で勝負する～

大阪市で開業した事業所件数(1996～1999年)



総開業件数:32,462件

大阪市で廃業した事業所件数
(1996～1999年)



総廃業件数:54,467件

出所：大阪都市経済調査会「大阪の経済2002年版」のデータを加工

近年、大阪市で開業した事業所の半数以上が、卸売・小売・飲食業である。その中のかかなりの部分が飲食業であることは想像に難くない。自分の舌で磨き上げることができ、そこに人がいる限りマーケットがある「食」産業は、新規事業として取り組みやすいものであろう。

しかし、同期間に廃業した事業所の半数以上も、やはり卸売・小売・飲食業である。ここからも分かるように、飲食業は典型的な「多産多死」型産業である。起業するためのハードルは多少低いかもしれないが、事業を継続・発展させていくのは非常に厳しい。

とはいうものの、「くいだおれの街」と言われている大阪で「食」産業を起こすことには大きなメリットもある。それは大阪という都市の持つ圧倒的な「食」に関するブランド力である。このブランド力に加えて、「食」に厳しい大阪の消費者によるシビアな選択を克服した企業は、大変なサバイバル競争を生き抜いた勝者であり、その工夫と努力は大きな力となるはず。今月の特集は「食ビジネス」。流通から店舗まで、「食」に関するあらゆる業態の企業の生き残りをかけた戦いを追う。